

# 電力自由化への賢い対応は

## Q 電力自由化とは？

これまで関西電力から電気を買っていた私たち一般家庭も、この4月から電力会社を選べるようになります。

## Q 関電以外にどんな電力会社があるの？

資源エネルギー庁のサイトで登録小売業者のリストを見ることができます。2月末で約200社あります。大阪ガスや昭和シェル石油、KDDI、HISなど他業種からの参入です。また、東京電力など他の地域の大手電力会社に乗り換えることも可能です。

## Q どうやって選べばいいの？

自分の地域に供給してくれるのは登録会社の一部です。その会社を選択し、料金プランを比較できるサイトも開設されています。

インターネットを「電力自由化 比較」で検索すると「エネチェンジ」や「価格.COM」などのサイトを開くことができます。

## Q 電気料金だけで選んでいいの？

もちろん安いに越したことはありません。比較サイトでも、料金シミュレーションでいくら安くなるか見積もることができます。

でも、料金だけで選択してはもったいな

い！ せっかくの電力自由化、電気を選べば社会が変わる！ 賢い消費者になりましょう！

## Q では、どんな視点を持っていいの？

環境NGOなどが運営するパワーシフトキャンペーンでは次の点を重視するように訴えています。



1. 電源構成や環境負荷などの情報を一般消費者開示していること
2. 再生可能エネルギーの発電設備（FITをふくむ）からの調達を中心とすること
3. 原子力発電所や石炭火力発電所からの調達はしないこと（常時バックアップ分は除く）
4. 地域や市民による再生可能エネルギー発電設備を重視していること
5. 大手電力会社と資本関係がないこと（子会社や主要株主でない）

## Q 新会社への切り替え手続きは？

新会社へ申し込みをすると、関電への解約はしてもらえるでしょう。電気メーターを、通信機能を持ち、30分ごとの使用量を遠隔で検針したりできるスマートメーターに交換する必要があります。関電から工事予定日の連絡が入ります。

**Q 4月1日に間に合うの？**

関電からの切り替え実施日は、新会社との契約次第です。無理に間に合わせようと焦る必要はありません。どの会社であろうと停電することはありません。情報が出そろうのを待ってじっくり選ぶのも賢いやり方です。